九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

九州大学百年史 第7巻 : 部局史編 IV

九州大学百年史編集委員会

https://doi.org/10.15017/1801803

出版情報：九州大学百年史. 7, 2017-03-31. 九州大学
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

九州大学百年史　第 7 巻　部局史編Ⅳ　目次

序

凡例

第 29 編　生物環境利用推進センター

はじめに ……29-3

第 1 章　沿革……29-5

第 1 節　九州大学農学部環境自動制御実験室 ……29-5

第 2 節　学内共同利用施設への展開 ……29-8

第 3 節　生物環境調節センターの発展 ……29-9

第 4 節　学内共同利用施設としての充実 ……29-11

第 2 章　研究と教育……29-19

第 1 節　生物環境調節に関する基礎研究
「バイオトロニクス」 ‥29-19

第 2 節　「バイオトロニクス」の変遷 ……29-24

第 3 節　九州大学の教育活動への貢献 ……29-26

第 3 章　生物環境調節センターの改編と
新センターの挑戦 ‥‥29-27

第 30 編　熱帯農学研究センター

第 1 章　沿革と役割……30-3

第 1 節　沿革……30-3

第 2 節　役割……30-5

第 2 章　教育・研究……30-7

第 1 節　教育……30-7

作物生産部門　　地水・環境保全部門　　大学院生

第 2 節　研究 …… 30-11
初期の研究（1975～1987 年）　　中期の研究（1988～2001 年）
最近の研究（2002～2012 年）
第 3 章　組織・規則・主要人事 …… 30-23
第 1 節　組織 …… 30-23
発足当初の組織　　組織の変遷と現在の組織　　組織図
第 2 節　熱帯農学研究センター規則 …… 30-26
第 3 節　主要人事 …… 30-27
第 4 章　国際協力 …… 30-29
第 1 節　バングラデシュ農業大学院計画 …… 30-29
第 2 節　ハノイ農業大学強化計画 …… 30-30
第 3 節　持続可能な農村開発のためのタイバック大学
（TBU）機能強化プロジェクト‥30-32
第 4 節　ICT を活用した BOP 層農民所得向上
プロジェクト …… 30-32
第 5 章　建物・関連施設・コレクション …… 30-34
第 1 節　建物・関連施設 …… 30-34
建物　　日長調整装置
第 2 節　コレクション …… 30-36
熱帯のアリの標本　　中島コレクション
第 3 節　学術雑誌 …… 30-37
第 6 章　センターの行事 …… 30-39

第 31 編　アイソトープ総合センター
第 1 章　アイソトープ総合センターの設立 ……31-3
第 1 節　アイソトープ総合センター化 ……31-3
第 2 節　アイソトープ総合センター設立以前 ……31-7

第 2 章　アイソトープ総合センターの内部改編 …… 31-11
第 3 章　アイソトープ統合安全管理センター
への大改編 …… 31-12
第 4 章　アイソトープ総合センター各実験施設
について …… 31-14
(1) 箱崎地区実験室 …… 31-14
(2) アイソトープ総合センター病院地区実験室 …… 31-16
(3) アイソトープ総合センター病院地区学生実習室 …… 31-18
(4) アイソトープ総合センターセミハイ・レベル実験室の歴史 · 31-19
(5) アイソトープ総合センター伊都地区実験室 …… 31-22
第 5 章　今後 …… 31-23

第 32 編　中央分析センター
第 1 章　概要 …… 32-3
第 2 章　センターの推進プロジェクト …… 32-8
第 3 章　機器利用状況 …… 32-9
第 4 章　センターの運営 …… 32-11

第 33 編　留学生センター
第 1 章　留学生センターの創設 …… 33-3
第 1 節　留学生センター前史 …… 33-3
(1) 学部留学生の学習と生活の支援 …… 33-3
(2)「外国人留学生センター」の設置 …… 33-4
(3)「留学生受入れ 10 万人計画」による受入れ体制の整備 …… 33-5
留学生会館の設立　各学部の留学生専門教育教官の配置　「外国人留学生センター」の強化　「留学生教育センター」の設立　「留学生センター」の設立　短期留学部門と国際教育部門の設置

第 2 章　日本語教育部門の展開 …… 33-10
第 1 節　留学生センターにおける教育活動 …… 33-10
(1) 大学院入学前予備教育 …… 33-10
(2) 全学向けの日本語補講コース …… 33-11
箱崎・伊都コース　　筑紫・大橋コースと CAI クラス
第 2 節　学部・大学院における日本語授業 …… 33-13
(1) 全学教育における担当授業 …… 33-13
(2) 学士課程国際コースにおける担当授業 …… 33-13
(3) アジア人財資金構想による産業工学コース …… 33-14
(4) 大学院における担当講義 …… 33-14
(5) 日本語・日本文化研修コース（JLCC） …… 33-15
(6) 日韓共同理工系学部留学生予備教育プログラム …… 33-16
第 3 節　短期留学コースの運営 …… 33-16
(1) ATW …… 33-16
(2) AsTW …… 33-17
(3) 委託事業 …… 33-17
マヒドン・プログラム　　マヒドン大学インターナショナル・カレッジ集中日本語コース　　ソウル大学プログラム　　サハリン・プログラム　　広州市研究生プログラム
第 3 章　留学生指導部門の確立と発展 …… 33-20
第 1 節　留学生指導部門の活動 …… 33-20
(1) 活動目標の模索と設定 …… 33-20
(2) 教育活動 …… 33-20
(3) 留学生とその家族に対する相談活動 …… 33-22
オリエンテーションの実施　　留学生アドバイジングとカウンセリング活動
(4) 大学や地域における留学生支援体制の構築 …… 33-23

留学生団体および留学生支援団体に対する指導助言　　留学生の地域交流の促進
第 2 節　国際交流会館の諸問題への対応 …… 33-24
第 3 節　留学生問題の調査研究 …… 33-25
第 4 章　短期留学部門の設立と発展 …… 33-27
第 1 節　短期留学部門の設立 …… 33-27
第 2 節　JTW の運営体制 …… 33-27
（1）JTW の運営組織 …… 33-27
（2）JTW の受入れ学生の動向 …… 33-28
第 3 節　JTW プログラムの教育内容と評価 …… 33-29
（1）講義科目 …… 33-29
（2）独立研究（ISP） …… 33-30
（3）多彩な科目と課外活動 …… 33-30
（4）授業評価等 …… 33-31
第 6 章　今後の課題 …… 33-32

第 34 編　総合研究博物館
第 1 章　総合研究博物館の創設 …… 34-3
第 1 節　理念と設置目的 …… 34-3
第 2 節　創設の経緯 …… 34-3
第 2 章　組織運営と人事 …… 34-5
第 1 節　組織運営 …… 34-5
第 2 節　主要人事 …… 34-5
第 3 節　組織整備と将来構想の模索 …… 34-6
第 3 章　施設と収蔵品 …… 34-10
第 1 節　施設設備充実への努力 …… 34-10
第 2 節　学術標本の収蔵管理 …… 34-13

第 4 章　展示と社会貢献 …… 34-16
第 1 節　展示 …… 34-16
常設展示　平常展示　特別展示　公開展示　サテライト展示　巡回展示　博物館施設一般公開　その他の展示
第 2 節　各種催事・特別企画などによる社会貢献 …… 34-20
第 5 章　教育・研究 …… 34-22
第 1 節　教育 …… 34-22
第 2 節　研究 …… 34-23
第 3 節　出版・情報発信 …… 34-23

第 35 編　システム LSI 研究センター
第 1 章　創設の経緯 …… 35-3
第 1 節　情報化社会の基盤情報技術としてのシステム LSI …35-3
第 2 節　システム LSI 技術の必要性 …… 35-3
第 3 節　システム LSI 研究センターの創設の必要性 …… 35-4
第 2 章　システム LSI 研究センターの変遷 …… 35-6
第 1 節　概要 …… 35-6
第 2 節　組織の変遷（第 2 期への移行） …… 35-6
第 3 節　専任ポストの変遷 …… 35-8
第 4 節　教員の変遷 …… 35-8
(1) センター長 …… 35-9
(2) 組織（第 1 期および第 2 期） …… 35-9
第 3 章　教育・研究の活動 …… 35-12
第 1 節　研究 …… 35-12
第 2 節　教育 …… 35-13
第 3 節　産学連携 …… 35-13

第 36 編　宙空環境研究センター
第 1 章　センター設立の背景と経緯 ……36-3
第 2 章　センター各部門の人員構成と活動 ……36-4
宇宙環境観測部門　宙空環境模擬実験部門　総合理論解析部門
宇宙災害予測部門
第 3 章　センターの活動 ……36-7
(1) センターの活動と主な成果 ……36-7
教育　研究　社会連携・国際交流
(2) 特筆すべき活動 ……36-9
電磁圏物理学シンポジウム　宇宙天気概況報告会　学生の海外
フィールドワーク
第 4 章　センターの現状と展望 ……36-12

第 37 編　韓国研究センター
第 1 章　創設の背景 ……37-3
第 1 節　九州帝国大学と朝鮮半島 ……37-3
第 2 節　朝鮮半島からの「留学生」 ……37-4
第 3 節　新制期の九州大学と韓国・朝鮮 ……37-6
第 2 章　設立の経緯 ……37-9
第 1 節　金鍾泌来学と名誉博士号の授与 ……37-9
第 2 節　設置準備と開所式 ……37-10
第 3 節　省令施設化のあとさき ……37-12
第 3 章　現状と展望 ……37-14
第 1 節　国立大学法人化後の動き ……37-14
第 2 節　日韓海峡圏カレッジ ……37-14
第 3 節　センターの人的組織と主要人事 ……37-15
第 4 節　施設・所蔵資料 ……37-17

第 5 節　研究・国際交流・社会貢献 ……37-17
第 6 節　今後の展望と課題 ……37-18

第 38 編　医療系統合教育研究センター
第 1 章　創設の経緯 ……38-3
第 1 節　医学部附属統合教育研究実習センターの設置 ……38-3
第 2 節　医療系統合教育研究センターへ ……38-4
第 2 章　目的と機能 ……38-6
第 1 節　医学部附属統合教育研究実習センター ……38-6
（1）医学部附属統合教育研究実習センターの目的 ……38-6
（2）医学部附属統合教育研究実習センターの機能 ……38-7
第 2 節　医療系統合教育研究センター ……38-8
（1）医療系統合教育研究センターの目的 ……38-8
（2）医療系統合教育センターの業務 ……38-9
第 3 章　教育 ……38-12
第 1 節　医学部附属統合教育研究実習センター時代 ……38-12
平成第 1 次カリキュラム関連　大学設置基準の大綱化　平成第 2 次カリキュラム関連
第 2 節　医療系統合教育研究センター設置以降 ……38-13
2003（平成 15）年度　2004（平成 16）年度　2005（平成 17）年度　2006（平成 18）年度　2007（平成 19）年度　2008（平成 20）年度　2009（平成 21）年度　2010（平成 22）年度　2011（平成 23）年度
第 4 章　組織・運営 ……38-22
第 1 節　医学部附属統合教育研究実習センター時代 ……38-22
第 2 節　医療系統合教育研究センター ……38-22
第 5 章　主要人事 ……38-24

第 6 章　施設・設備 ……38-26

第 39 編　高等教育開発推進センター
第 1 章　社会の変化と大学教育改革 ……39-3
第 2 章　大学教育研究センター ……39-5
第 1 節　設立の経緯と理念 ……39-5
第 2 節　教養教育の問題点とその改善 ……39-6
第 3 節　組織編成と任務 ……39-7
第 4 節　全学共通教育の実施 ……39-9
第 5 節　カリキュラム編成 ……39-10
第 3 章　高等教育総合開発研究センター …… 39-12
第 1 節　設立の経緯と目的 ……39-12
第 2 節　21 世紀プログラムと AO 入試の運営 …… 39-13
第 3 節　組織編成と任務 ……39-14
第 4 節　設置の意義と期待される効果 ……39-15
第 5 節　全学委員会との関係 ……39-16
第 4 章　高等教育開発推進センター …… 39-18
第 1 節　新たな人材育成の社会的要請と大学の多様化 …… 39-18
第 2 節　高等教育機構の設置と各種委員会の再編 …… 39-19
第 3 節　高等教育開発推進センターの設立の目的・任務 … 39-21
第 4 節　高大連携事業等 ……39-22
第 5 節　カリキュラム改定 ……39-23
第 6 節　全学教育から基幹教育へ ……39-24

第 40 編　超伝導システム科学研究センター
第 1 章　初めに ……40-3
第 2 章　センターの変遷 ……40-5

第 1 節　センター設立以前 ……40-5
第 2 節　工学部附属超電導マグネット研究センター ……40-8
第 3 節　超伝導科学研究センター ……40-9
第 4 節　超伝導システム科学研究センター第Ⅰ期 ……40-11
第 5 節　超伝導システム科学研究センター第Ⅱ期 ……40-15
第 3 章　教育・研究の活動 ……40-17
第 1 節　工学部附属超伝導マグネット研究センター ……40-19
第 2 節　超伝導科学研究センター ……40-21
第 3 節　超伝導システム科学研究センター第Ⅰ期 ……40-22
第 4 節　超伝導システム科学研究センター第Ⅱ期 ……40-25

第 41 編　感性融合デザインセンター
第 1 章　感性融合デザインセンターの概要 ……41-3
コンテンツ創成科学部門　ユーザーサイエンス部門　最近の研究（2002～2012 年）
第 2 章　感性融合デザインセンターの経緯 ……41-6
第 1 節　九州芸術工科大学感性形成センター ……41-6
第 2 節　九州大学感性融合創造センター ……41-7
第 3 節　ユーザーサイエンス機構（USI） ……41-8
第 3 章　現状と展望 ……41-11

第 42 編　産学連携センター
第 1 章　沿革 ……42-3
第 2 章　先端科学技術共同研究センター ……42-5
リエゾン部門　プロジェクト部門　客員部門
第 3 章　九州芸術工科大学地域共同研究センター ……42-10
第 4 章　産学連携センター ……42-12

第 1 節　リエゾン部門 ……42-12
第 2 節　デザイン総合部門 ……42-14
第 3 節　プロジェクト部門 ……42-16
第 4 節　客員部門 ……42-19
第 5 節　連携部門 ……42-19
第 6 節　今後の展望 ……42-21

第 43 編　超高圧電子顕微鏡室
第 1 章　創設の経緯と組織・体制 ……43-3
第 1 節　社会的背景 ……43-3
（1）世界・日本における電子顕微鏡事情 ……43-3
（2）学内における電子顕微鏡事情 ……43-4
第 2 節　超高圧電子顕微鏡の導入 ……43-5
第 3 節　運営組織 ……43-7
第 4 節　運営理念と目標 ……43-9
第 5 節　装置の利用と維持管理 ……43-10
（1）利用手続きなど ……43-10
利用枠決定　　利用記録と利用料の支払い
（2）装置の維持・管理など ……43-11
第 2 章　施設の沿革と共用設備の推移 ……43-12
第 3 章　各種装置の導入経緯と利用状況 ……43-17
第 1 節　装置の導入 ……43-17
第 2 節　利用状況 ……43-20
（1）申請課題数の推移 ……43-20
第 3 節　研究・教育支援成果 ……43-21
（1）成果報告と公開 ……43-21
超高圧電顕室研究報告書　　発表論文

(2) 研究者の育成 ……43-22
第 4 節　情報提供と課題の共有：
研究会・研究プロジェクト ……43-23
(1) HVEM 研究会 ……43-23
(2) 学内研究プロジェクト ……43-23
(3) 超高圧電子顕微鏡室研究プロジェクト ……43-24
第 5 節　学会活動など ……43-24
第 6 節　特別企画行事・国際交流など ……43-25
第 7 節　中長期目標 ……43-26
第 8 節　達成度評価と外部評価 ……43-26
第 4 章　学外への機器開放 ……43-28
第 1 節　文部科学省の施設共用・研究支援制度 ……43-28
ナノテクノロジー総合支援事業　　文科省先端研究施設共用イノベーション創出事業
第 2 節　超高圧電子顕微鏡フォーラム ……43-30
第 3 節　超高圧電子顕微鏡連携ステーション ……43-31
第 4 節　電子顕微鏡研修制度 ……43-31
第 5 章　新超高圧電子顕微鏡の設置と
伊都キャンパスへの移転 ……43-33
第 1 節　新超高圧電子顕微鏡の設置 ……43-33
第 2 節　伊都キャンパスへの移転 ……43-34
第 3 節　おわりに ……43-35

第 44 編　環境安全センター
はじめに ……44-3
第 1 章　創設期 ……44-5
第 1 節　創設の社会的背景 ……44-5

第 2 節　特殊排水処理施設の創設 ……44-5
第 3 節　廃棄物の処理 ……44-7
廃棄有機溶剤の共同処理　　水銀含有汚泥の処理
第 2 章　施設更新と学内共同利用施設 ……44-9
第 1 節　施設の更新 ……44-9
第 2 節　特殊廃液の処理 ……44-11
第 3 節　廃棄物の処理 ……44-12
水銀含有汚泥・乾電池および廃蛍光管の処理　　PCB 油の一括保管
第 4 節　その他の業務 ……44-13
排出水の水質分析　　分析機器と共同利用　　『特殊廃液処理施設ニュース』の創刊　　講習会・施設見学会
第 5 節　処理施設のセンター化申請 ……44-14
第 3 章　廃液処理から環境保全へ ……44-16
第 1 節　廃液処理法の変更 ……44-16
燃焼処理の中止　　液体キレート法の導入
第 2 節　廃棄物の処理 ……44-17
ごみの分別　　廃薬品等の処理　　電子マニフェストの全学導入
第 3 節　排出水の水質管理 ……44-19
基準値超過時の対応
第 4 節　環境水の水質調査 ……44-20
第 5 節　化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） ……44-21
第 4 章　国立大学法人化と環境安全センター ……44-22
第 1 節　『九州大学環境報告書』の作成 ……44-22
第 2 節　化学物質の管理 ……44-23
作業環境測定とリスク調査　　化学物質管理支援システム　　九州大学化学物質管理規程
第 3 節　伊都地区における水循環利用システム ……44-24

第 4 節　環境安全センターに改称 ……44-26
第 5 節　学内処理から学外委託処理へ ……44-26

第 45 編　西部地区自然災害資料センター
第 1 章　設立の経緯……45-3
第 2 章　沿革 ……45-7
第 1 節　設立の趣旨 ……45-7
第 2 節　組織・運営 ……45-7
第 3 節　主要人事 ……45-8
第 4 節　施設・設備 ……45-9
第 3 章　活動状況 ……45-12
第 1 節　主な業務と業績 ……45-12
第 2 節　出版物・行事 ……45-13
第 3 節　研究 ……45-14
第 4 章　社会貢献 ……45-15
第 1 節　シンポジウム・フォーラム・市民公開講座など ‥45-15
第 2 節　突発災害に関する調査研究報告 ……45-17
第 3 節　他機関との協定 ……45-18

第 46 編　電離気体実験施設
第 1 章　電離気体実験施設設置の目的と経緯
および運営方法 ……46-3
第 1 節　目的……46-3
第 2 節　設立の経緯 ……46-3
第 3 節　運営方法……46-4
第 2 章　共同利用装置 ……46-5
第 1 節　Ⅰ群（レーザー装置） ……46-5

第 2 節　Ⅱ群（光分析装置）……46-9
第 3 節　Ⅲ群（検出器）……46-10
第 4 節　Ⅳ群（工作機械　その他）……46-11
第 3 章　学内共同利用施設としての活動……46-12
第 1 節　設立から 10 年間の研究成果……46-12
（1）A. 機能性薄膜作成とプロセシングプラズマ……46-12
（2）B. 光科学……46-14
（3）C. 核融合……46-16
（4）D. レーザー応用技術……46-17
（5）E. レーザー計測……46-17
第 2 節　11 年目以降の活動……46-19

第 47 編　大学文書館
第 1 章　七十五年史編集室……47-3
第 2 章　大学史料室……47-5
第 1 節　大学史料保存の提言……47-5
第 2 節　大学史料室の設置……47-6
第 3 章　大学文書館……47-10
第 1 節　大学文書館の発足……47-10
第 2 節　大学文書館の活動……47-13
（1）資料の収集・整理・保存・公開……47-13
（2）調査・研究活動……47-16
（3）教育活動……47-17
（4）その他広報活動等……47-18
第 3 節　百年史編集室の設置……47-19
第 4 節　大学文書館活動の今後の課題……46-21

第 48 編　ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター

第 1 章　創設前史 ……47-3
第 1 節　ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー設立 ……47-3
第 2 節　九州大学 VBL 展開の特徴 ……47-4
第 3 節　VBL をめぐる環境変化 ……47-4
第 2 章　創設の背景……47-6
第 1 節　九州大学におけるリーダーシップ教育・イノベーション教育の必要性増大 ….47-6
第 2 節　九州大学/VBL 組織の見直し機運 ……47-6
第 3 節　九州大学 OB、ロバート・ファンからの寄付 ……47-7
第 4 節　ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム（通称 QREP）の成功 ….47-8
第 3 章　創設の経緯 47-9
第 1 節　ビジネススクール（QBS）とベンチャー・ビジネス・ラボラトリー（VBL）との連携 ….47-9
第 2 節　国内外の有力アントレプレナーシップ教育機関への訪問調査と検討 ‥47-10
第 3 節　学内手続の進展とロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センターの発足 ‥47-10
第 4 章　創設後の歩み…… 47-12
第 1 節　趣旨・目的……47-12
第 2 節　活動内容……47-12
第 3 節　特色（基本コンセプト） ……47-13
第 4 節　組織……47-15
(1) 教員 ……47-15
(2) 事務スタッフ ……47-15

（3）運営委員会 ……47-15
（4）外部アドバイザー会議 ……47-16
第 5 節　教育（カリキュラム） ……47-16
第 6 節　施設 ……47-19
第 5 章　現状と今後 ……47-20
第 1 節　教育 ……47-20
第 2 節　研究 ……47-20
第 3 節　社会連携 ……47-21
第 4 節　組織運営（他部局との連携） ……47-21

第 49 編　アドミッションセンター
第 1 章　アドミッションセンターの創設 ……49-3
第 1 節　創設の背景 ……49-3
第 2 節　設置の経緯 ……49-4
（1）前章 ……49-4
（2）アドミッションセンター設置準備委員会における開設過程 …49-5
第 2 章　アドミッションセンターの活動と今後 ……49-9
第 1 節　活動 ……49-9
第 2 節　将来 ……49-11

第 50 編　水素エネルギー国際研究センター
第 1 章　21 世紀 COE プログラムからの出発 ……50-3
第 2 章　前身の水素利用技術研究センターの
組織と運営 ……50-4
第 3 章　産学官地域連携の推進 ……50-6
第 4 章　水素エネルギー国際研究センターへの改組 ……50-7
第 5 章　水素エネルギー国際研究センターの活動 ……50-8

第 51 編　未来化学創造センター
第 1 章　創設の背景……51-3
第 2 章　創設の経緯……51-4
第 3 章　第 2 期設置 ……51-7
第 4 章　現状と展望……51-10

第 52 編　バイオアーキテクチャーセンター
第 1 章　バイオアーキテクチャーセンターの創設 ……52-3
第 2 章　組織と研究……52-4
第 3 章　イノベーティブバイオ
アーキテクチャーセンターへの改称 ……52-8

第 53 編　鉄鋼リサーチセンター
第 1 章　創設の背景……53-3
第 2 章　創設の経緯……53-5
第 3 章　現状と展望……53-12

第 54 編　デジタルメディシン・イニシアティブ
第 1 章　創設の背景―現代医学の構造的限界 ……54-3
第 2 章　理念と目的……54-5
第 1 節　人体数値シミュレータの開発 ……54-5
第 2 節　人体数値シミュレータの特徴と目的 ……54-6
第 3 章　組織と運営……54-8
第 1 節　実施体制 ……54-8
第 2 節　部門構成 ……54-9
(1) バイオインフォマティクス部門 ……54-10
(2) デジタルオーガン部門 ……54-10

(3) デジタルペイシェント部門 …… 54-11
第 4 章　成果と展望 …… 54-12
第 1 節　研究成果 …… 54-12
第 2 節　将来展望 …… 54-13

第 55 編　アジア総合政策センター
第 1 章　創設の経緯 …… 55-3
第 1 節　前史 …… 55-3
(1) アジア総合研究機構の開設 …… 55-3
(2) アジア総合研究センターへの改称 …… 55-4
第 2 節　アジア総合政策センターの発足 …… 55-5
(1) 創設の経緯 …… 55-5
(2) 設立理念と主な業務 …… 55-6
(3) 組織 …… 55-7
アジア現代文化研究部門　　アジア社会開発研究部門　　アジア社会科学研究部門
第 2 章　研究活動 …… 55-10
第 1 節　日中韓連携事業 …… 55-10
第 2 節　ケアのグローバル化国際共同研究 …… 55-11
第 3 節　「SIA（サイア)」(アジアに浸るプロジェクト） 55-12
第 4 節　その他のプロジェクト …… 55-13
(1) 九州大学アジア塾 …… 55-13
(2) アジア理解講座 …… 55-13
(3) ICABE 九州・中国ビジネス研究会 …… 55-13
(4) 交流支援事業 …… 55-13
(5) アジア関連研究室紹介 …… 55-14
(6) 紀要・叢書等の刊行 …… 55-14

第 3 章　アジア総合政策センターの活動終了 …… 55-15

第 56 編　低温センター
第 1 章　はじめに ……56-3
第 2 章　低温センターの設立 ……56-4
第 3 章　低温センターの活動 ……56-6
第 1 節　寒剤供給量推移 ……56-6
第 2 節　寒剤用高圧ガスの保安業務 ……56-7
第 3 節　寒剤・高圧ガス利用者への保安講習会 ……56-8

第 57 編　加速器・ビーム応用科学センター
第 1 章　ガンマ線照射施設 ……57-3
第 1 節　創立とその後の改組 ……57-3
第 2 節　運営組織 ……57-4
第 3 節　ガンマ線照射室 ……57-5
第 4 節　共同利用 ……57-7
第 2 章　加速器施設 ……57-9
第 1 節　センター発足の背景と経緯 ……57-9
第 2 節　センターの組織と運営 …… 57-11
第 3 節　FFAG 加速器の導入と整備 …… 57-12
第 4 節　入射タンデム加速器の導入 …… 57-13

第 58 編　稲盛フロンティア研究センター
第 1 章　創設の経緯と理念 ……58-3
第 2 章　沿革 ……58-4
第 3 章　研究分野 ……58-5

第 59 編　炭素資源国際教育研究センター
第 1 章　沿　革 ……59-3
第 1 節　設立の背景と経緯 ……59-3
第 2 節　教育研究の体制 ……59-4
第 2 章　教育研究活動 ……59-6
第 1 節　教育活動 ……59-6
第 2 節　研究活動 ……59-6
第 3 節　国際連携 ……59-7
第 4 節　社会との関わり ……59-8

第 60 編　シンクロトロン光利用研究センター
第 1 章　創設の背景 ……60-3
第 2 章　BL 建設の経緯と設備 ……60-4
第 1 節　BL 建設の経緯 ……60-4
第 2 節　設備の特徴 ……60-5
第 3 章　利用状況と今後の展望 ……60-8
第 1 節　利用状況 ……60-8
第 2 節　今後の展望 ……60-8

第 61 編　先端融合医療創成センター
第 1 章　創設の経緯 ……61-3
第 1 節　創設の経緯 ……61-3
第 2 節　組織・運営 ……61-4
第 2 章　産学連携研究を担う人材の育成 ……61-6
第 1 節　センターにおける教育の概要 ……61-6
第 2 節　国際交流 ……61-7
第 3 章　研究成果 ……61-8

第 1 節　産学連携研究の推進 ……61-8
第 2 節　将来への展開 ……61-8

第 62 編　伊藤極限プラズマ研究連携センター
第 1 章　概要 ……62-3
第 1 節　伊藤プラズマ乱流研究センターの概要 ……62-3
第 2 節　伊藤極限プラズマ研究連携センターへの拡充改組 ·62-5
第 3 節　国際的展開 ……62-6
第 2 章　研究成果 ……62-7
第 1 節　プラズマ乱流物理学の推進 ……62-7
第 2 節　将来の展開 ……62-9
第 3 章　国際教育への寄与と国際的人材育成 …… 62-10
第 1 節　九州大学における国際教育 …… 62-10
第 2 節　ヨーロッパ物理学会における伊藤賞の授与 …… 62-11

第 63 編　国際教育センター
第 1 章　沿革 ……63-3
第 2 章　雇用計画および配置計画 ……63-4
第 3 章　外国人教員の公募から採用・着任まで ……63-5
第 4 章　運営 ……63-7
活動内容　　廃止後の措置

第 64 編　高等教育機構
第 1 章　全学共通教育の創設 ……64-3
第 2 章　全学教育機構の設置 ……64-6
第 3 章　高等教育機構の設置 ……64-11

第 65 編　学術研究推進機構
第 1 章　高等研究機構……65-3
第 1 節　設立趣旨・沿革……65-3
第 2 節　リサーチコア、大型研究プロジェクトの拠点……65-6
第 2 章　学術研究推進支援機構……65-14
第 1 節　設立趣旨……65-14
第 2 節　組織……65-14

第 66 編　産学連携推進機構
第 1 章　設立趣旨・沿革……66-3
第 2 章　組織・運営……66-4
第 3 章　主な活動の記録……66-6
第 1 節　産学連携推進機構連絡会議……66-6
第 2 節　産学官技術交流会……66-8

第 67 編　国際交流推進機構
第 1 章　創設の経緯……67-3
第 2 章　沿革……67-8
第 3 章　国際交流推進機構内の組織……67-9
EU センター　　国際交流総合企画会議

第 68 編　情報統括本部
第 1 章　創設の背景……68-3
第 2 章　創設の経緯……68-4
第 1 節　情報政策検討 WG の報告……68-4
第 2 節　情報統括本部の設置……68-4
第 3 節　情報統括本部の組織・運営……68-6

（1）全学情報環境利用委員会 ……68-6
（2）情報統括本部運営会議 ……68-6
（3）情報統括本部連絡会 ……68-7
第 4 節　情報統括本部の特徴 ……68-7
第 3 章　行事と出版物 ……68-9
第 1 節　恒例の行事 ……68-9
第 2 節　出版物 ……68-10

第 69 編　教育改革企画支援室
第 1 章　創設の経緯 ……69-3
第 2 章　組織・運営 ……69-4
第 1 節　教育改革推進室 ……69-4
第 2 節　教育改革企画支援室 ……69-4
第 3 章　沿革 ……69-7
第 1 節　教育改革推進室 ……69-7
第 2 節　教育改革企画支援室 ……69-8
大学院共通教育　教育改革諮問会議　GPA 制度　チャレンジ 21　教育改革研究会　大学院教育の実質化　戦略的教育 GP 支援事業　教育の質向上支援プログラム（Enhanced Education Program：EEP）　Q-Links：九州地域大学教育改善 FD・SD ネットワーク　教材開発センター

第 70 編　研究戦略企画室
第 1 章　設立趣旨・沿革 ……70-3
第 2 章　組織・運営 ……70-4
第 3 章　主な活動の記録 ……70-8
第 1 節　始動期（2002 年 12 月～2005 年 10 月） ……70-8

第 2 節　展開期（2005 年 11 月～2008 年 9 月）……70-9
第 3 節　充実期（2008 年 10 月～2010 年 3 月）……70-10
第 4 節　転換期（2010 年 4 月～2012 年 3 月）……70-11
第 4 章　現状と次の百年への展望……70-13

第 71 編　社会連携推進室
第 1 章　創設の背景……71-3
第 2 章　創設の経緯……71-4
第 1 節　社会連携推進専門委員会および
社会連携推進委員会 ……71-4
第 2 節　社会連携推進室の設置と創設期 ……71-4
社会貢献戦略プロジェクトチーム
第 3 章　現状と展望……71-7
第 1 節　社会連携推進室概要 ……71-7
第 2 節　社会連携推進室の活動 ……71-8
社会連携事業経費による財政的支援　『社会連携活動レポート』
および社会連携推進室ウェブサイト

第 72 編　知的財産本部
第 1 章　設立趣旨・沿革……72-3
第 2 章　組織・運営……72-4
第 1 節　技術移転推進室 ……72-4
第 2 節　知的財産本部 ……72-4
第 3 章　主な活動の記録……72-6
第 1 節　地域企業からの技術相談対応業務 ……72-6
第 2 節　共同研究・受託研究・技術指導に関する
研究契約等の締結業務 ……72-7

第 3 節　知的財産の創出・管理・活用業務 ……72-8
第 4 節　組織対応型連携および共同研究部門の
コーディネート・マネジメント業務 ……72-9
第 5 節　国際産学官連携支援業務 …… 72-11
第 6 節　教員等に対する起業支援業務 …… 72-11
第 4 章　現状と今後の展望 …… 72-13

第 73 編　国際交流推進室
第 1 章　創設の経緯……73-3
第 2 章　沿革 ……73-5
第 3 章　主な業績 ……73-7
第 1 節　国際会議……73-7
（1）アジア学長会議 ……73-7
（2）大学サミット・イン・九州 ……73-7
第 2 節　プログラム……73-8
（1）大学サミット・イン・九州および
アジア学長会議をもとに実施した事業・プログラム……73-8
ネットワーク・ポイント　海外拠点　アジア学生交流プログラム（ASEP）　若手研究者優秀賞　ASEAN in Today’s World（AsTW）　Asia in Today’s World（ATW）　海外教育連携プログラム　アジア総合政策センター設立
（2）その他の事業・プログラム …… 73-11
EU センター設立　国際協力　SOAS 日本語集中プログラム　短期海外語学研修（学生対象）　教職員向け各種研修　国際業務企画能力養成研修

第 74 編　教育国際化推進室
第 1 章　創設の経緯と沿革……74-3
第 2 章　運営……74-4
第 3 章　業務……74-7
学士課程国際コース入学者選抜関連業務　入学・渡日手続き関連業務　海外プロモーション　海外大学共同利用事務所（九州大学カイロオフィス）関連業務　学内情報翻訳データベースシステム（KUTRIAD）　九州・山口地域の大学国際化ワークショップ「英語による教授能力」向上のための研修プログラム　国際化学生委員会　グローバル 30 総括シンポジウム

第 75 編　大学評価情報室
第 1 章　評価情報開発室の創設と活動……75-3
第 1 節　創設の経緯……75-3
（1）創設時の社会的背景……75-3
（2）創設の経緯……75-3
第 2 節　活動……75-4
（1）「大学評価情報システム」の開発と運用……75-4
（2）評価手法の研究・開発……75-4
第 2 章　大学評価情報室への改組と活動……75-5
第 1 節　改組の経緯……75-5
（1）改組時の社会的背景……75-5
（2）改組の経緯……75-5
第 2 節　活動……75-6
（1）評価関係システムの開発と運用……75-6
「大学評価情報システム」の開発と運用　「大学評価ウェアハウス」の開発と運用

(2) 大学評価推進活動 ……75-8
認証評価活動の推進　法人評価活動の推進　計画策定の推進
(3) その他評価活動等の推進のための研究・開発 ……75-10
九州大学版ファクトブック「Q-Fact」の作成　「大学経営研究会」
の開催等の調査・研究活動　大学間連携の推進
第 3 章　現状と展望……75-11
第 1 節　現状 ……75-11
第 2 節　今後の展望 ……75-12
(1) 現在の社会的背景 ……75-12
(2) 大学評価情報室の今後の方向 ……75-13

第 76 編　新キャンパス計画推進室
第 1 章　設置の経緯……76-3
第 2 章　沿革 ……76-4
第 1 節　新キャンパス基本構想から着工まで ……76-4
第 2 節　環境影響評価と環境監視調査 ……76-5
第 3 節　九州大学学術研究都市構想 ……76-6
第 4 節　新キャンパス・マスタープラン 2001 と
地区基本設計 ……76-7
第 5 節　パブリックスペース、水循環、緑地の計画 ……76-8
第 6 節　「伊都キャンパス」誕生 ……76-9
第 7 節　フレームワークプラン ……76-10
第 3 章　研究と教育……76-11
第 4 章　組織・運営……76-12

第 77 編　環境安全衛生推進室
第 1 章　創設の背景・経緯……77-3

第 2 章　創設から現在までの変遷 ……77-4
第 3 章　環境安全衛生推進室の各部門 ……77-5
第 1 節　総括管理部門 ……77-5
第 2 節　健康衛生管理部門 ……77-5
第 3 節　特定分野安全管理事務部門 ……77-6
第 4 節　環境安全管理部門 ……77-7
第 5 節　高圧ガス等安全管理部門 ……77-7
第 6 節　エネルギー資源管理部門 ……77-7
第 4 章　現状と今後の展望 ……77-9

第 78 編　男女共同参画推進室
第 1 章　創設の背景・経緯（2002～2008 年度） ……78-3
第 2 章　組織変更から現在までの変遷
（2009～2011 年度） ……78-5
第 1 節　広報部門 ……78-6
第 2 節　就労・修学環境部門 ……78-6
第 3 節　学生教育等部門 ……78-7
第 4 節　女性研究者支援部門 ……78-7
第 5 節　女性研究者キャリア開発センター ……78-8
第 3 章　今後の展開（2012 年度～ ） ……78-9

第 79 編　情報環境整備推進室
第 1 章　推進室の目的と運営体制 ……79-3
第 1 節　目的と体制 ……79-3
第 2 節　運営 ……79-3
第 2 章　推進室の業務内容 ……79-5
第 1 節　事業室 ……79-5

（1）設立時の事業室 ……79-5
（2）設立後の事業室の変遷 ……79-6
第 2 節　特色あるサービス ……79-7
第 3 節　タスクフォース・プロジェクト ……79-8
第 3 章　今後の計画…… 79-10

第 80 編　百周年記念事業推進室
第 1 章　記念事業の実施体制 ……80-3
第 2 章　百周年記念事業の事務支援体制 ……80-5
東京同窓会・関西同窓会・福岡同窓会の設立　東京オフィス・大阪オフィス・博多駅オフィスの開設
第 3 章　募金活動 ……80-7
第 4 章　百周年記念事業の概要 ……80-8
第 5 章　九州大学基金の創設 ……80-9
支援助成事業　プロジェクト支援　実施体制
第 6 章　百周年記念事業推進室の廃止 …… 80-12

第 81 編　（旧）教養部
第 1 章　通史 ……81-3
第 1 節　戦前の高等教育機関と教養教育 ……81-3
第 2 節　敗戦後の学制改革と一般教育 ……81-4
第 3 節　九州大学教養部の発足 ……81-8
（1）教養教育組織の整備 ……81-8
旧制福岡高等学校・久留米工業専門学校の合併　教養部（分校）の設置　教養部の組織・運営　初期の教養教育体制
（2）分校統合問題 …… 81-20
第三分校の廃止　第二分校の廃止

第 4 節　教養部の法制化 …… 81-25
（1）教養部の法制化 …… 81-25
（2）学生指導体制の整備 …… 81-28
第 5 節　教養教育の改善 …… 81-31
第 6 節　学生運動と教養部 …… 81-34
（1）分校時代の学生運動 …… 81-34
（2）安保闘争と教養部 …… 81-35
（3）大学紛争と教養部 …… 81-37
第 7 節　教養部と改組構想 …… 81-39
（1）1960 年代の教養学部構想 …… 81-39
（2）1970 年代の「総合学部構想」 …… 81-40
（3）最後の学部構想 …… 81-43
第 8 節　結語 …… 81-44
第 2 章　教室史 …… 81-46
第 1 節　人文科学 …… 81-46
（1）哲学 …… 81-46
哲学　論理学　倫理学　宗教学　教育学　ギリシャ語・ラテン語　哲学科機関誌　教官と研究内容
（2）歴史学・人文地理学 …… 81-50
（3）文学 …… 81-51
国文学　中国古典　西洋文学　『文学論輯』　研究内容
（4）日本語・日本事情 …… 81-54
教室の沿革　教育内容　研究内容
（5）心理学 …… 81-56
第 2 節　社会科学 …… 81-57
（1）法律学・政治学 …… 81-57
沿革　教官と研究

(2) 経済学 ……81-59
沿革　教官と研究
(3) 社会学・統計学・社会思想史・文化人類学・国際関係論 …81-60
沿革　教官と研究
第 3 節　自然科学 ……81-61
(1) 数学 ……81-61
研究内容　教育、特にカリキュラム
(2) 物理学 ……81-66
教育　研究
(3) 化学 ……81-69
教育　施設　研究
(4) 地学 ……81-72
教育と施設　教官と研究
(5) 生物学 ……81-73
教官と研究
(6) 図学 ……81-76
設備と教育　研究
(7) 科学史 ……81-77
第 4 節　外国語 ……81-78
(1) 英語 ……81-78
沿革と教育　研究の状況
(2) ドイツ語 ……81-82
沿革と教育　人事と研究
(3) フランス語 ……81-85
(4) 中国語 ……81-86
(5) ロシア語 ……81-87
第 5 節　保健体育 ……81-87

第 82 編　事務局

第 1 章　事務局の歩み……82-3
第 1 節　九州帝国大学の職員と事務組織 ……82-3
第 2 節　新制大学の発足と事務局 ……82-4
第 3 節　事務組織の部制化 ……82-5
第 2 章　事務局各部……82-8
第 1 節　企画部 ……82-8
(1) 創設の経緯 ……82-8
(2) 沿革 ……82-10
(3) 組織・運営 ……82-11
第 2 節　総務部 ……82-15
(1) 創設の経緯 ……82-15
(2) 沿革 ……82-16
(3) 組織・運営等 ……82-19
1980～90 年代の庶務部　　庶務部から総務部へ　　国立大学法人化に向けた動き　　国立大学法人化以降
第 3 節　国際部 ……82-27
(1) 創設の経緯 ……82-27
(2) 沿革 ……82-29
(3) 組織・運営 ……82-29
第 4 節　財務部 ……82-31
(1) 創設の経緯 ……82-31
(2) 沿革 ……82-36
(3) 組織・運営等 ……82-40
第 5 節　学務部（学生部を含む） ……82-41

（1）創設の経緯 ……82-41
（2）沿革 ……82-42
（3）組織・運営 ……82-45
学生部の組織・運営　　学務部への改組
第 6 節　施設部 ……82-51
（1）創設の経緯 ……82-51
（2）沿革 ……82-52
（3）組織・運営 ……82-54
第 7 節　情報システム部 ……82-59
（1）創設の経緯 ……82-59
（2）沿革 ……82-61
（3）組織・運営 ……82-62
第 8 節　伊都共通事務部 ……82-63
（1）創設の経緯 ……82-63
（2）沿革 ……82-64
（3）組織・運営 ……82-65
第 9 節　監査室 ……82-65
（1）創設の経緯 ……82-65
（2）沿革 ……82-66
（3）組織・運営等 ……82-66
内部監査　　監事監査の業務補助

執筆者一覧
図表一覧